

《今回のお便り》 ・東台自治会 ・滝ノ町自治会 ・田内自治会 ・神足小校区
《地域推進活動紹介》 ・馬場自治会 ・田内自治会

東台自治会 第7回1日体験会「干支ちぎり絵」



1月29日(火)午後1時30分から「第7回1日体験会」を開催しました。今回は「干支ちぎり絵」を行いました。ご指導いただいたのは、市内在住で、バンビオでもご活躍されています、しゅんこう和紙ちぎり絵サークルの澤良子様です。今年は亥年なので、猪をモチーフにした「干支『紅白の亥』」に取り組みました。はじめに、台紙に原紙を置き、クリップで留めた後、原紙と台紙の間にチャコペーパーをはさんで、下絵を写し取りました。下絵に合うように、猪用の白和紙と赤和紙に型を取り、手でちぎっていきるところ、ハサミで切るところを分けて切り取りました。手でちぎるのが思ったよりもちぎれず、苦戦しました。また白い猪の金のたてがみ(背毛)や「亥」のタイトルを切り取り、



台紙に貼っていききました。のりが乾くまで、飾り花や柳もち飾りの部品を切り取って準備しました。その他の部品も切り取り、貼った後は、和紙でつくった猪の体に毛羽を入れました。上手く毛羽を入れるところがポイントです。慎重に毛羽を入れていくと、段々と見映えが良くなりました。亥年はスタートしましたが、素晴らしい自分だけの「干支『紅白の亥』」ちぎり絵が完成しました。



滝ノ町自治会

第209回ふれあい文化サロン 「笑う門に福来る！」

～みんなで笑って福を呼び込みましょう！～

1月31日(木)午後1時30分から「第209回ふれあい文化サロン」を開催。今回は「プロの落語を楽しむ」ということで、「笑う門に福来る！」と題し、「みんなで笑って福を呼び込みましょう！」と企画しました。節分も間近ということもあり、みんなで滝ノ町から「笑いで鬼を追い払おう」ということです。落語をお世話になったのは、副会長の石井さんのご紹介で、落語協会馬風一門獅堂門下の二代目柳家かゑるさんです。勢いよく話のはじまり、

小噺がどんどん飛び出しました。山伏の小噺では「大きなことを言う人に、『お前さんは大きなことを言わはりますな。一体何をなさっているのですか』と言うと、『山伏をしております。なんせホラを吹いておりますの』や、「お腹の大きな猪が銃で撃たれ、『死んだ猪の子は、ししだけに十六匹ですか』とのことと『死後なので二十四匹です』との話。会場は大盛り上がり。皆さん楽しく福をもらいました。



地域推進活動紹介

馬場自治会 恒例の「餅つき大会」

12月9日(日)午前9時30分から毎年恒例の「餅つき大会」を行いました。昔ながらの杵と臼を使った餅つきです。最近ではあまり見られなくなった餅つきを大人も子どもも体験するということが、子ども用の杵も用意して、盛大に行いました。初めて杵での餅つきをした子ども達は、とても大喜びしていました。つき上がった餅は、用

意した「大根おろし」「黄な粉」「しょうゆ」「のり」のお好みの味でいただきました。大人も子どもも満面の笑顔で、美味しそうに口いっぱい頬張っていました。また、長岡京市社会福祉協議会の皆さんがいろいろな味のポップコーンコーナーを用意してくださったので、味わいました。良い天気の中、美味しい1日となりました。

地域推進活動紹介



田内自治会 第24回「ヨーガ」実施！

1月24日(木)午前10時から「第24回オープンサロン:ヨーガ」を行いました。はじめに市老人会の関係で、長岡京市交通対策課の交通教育指導員に、「夜の危険と安全」についてのお話をさせていただき、最後に反射材が折りこまれた鶴を折って終了。場面転換をして、早速椅子を使ったヨーガを行いました。まず「骨盤と姿勢を正し、呼吸を整えて、瞑想しました。挨拶後、足の指、足首、ふくらはぎ、ヒザの裏、そして股関節の動きを確認していききました。次に、肩

関節や肩甲骨の動きを確認し、整えていきました。二人組になって立ち、一人の肘をもう一人が後ろから引き寄せるといった動きをしました。肘を引き寄せ、肩甲骨を寄せた後は、軽く拳でマッサージをするように背中をたたくと、「ああ、気持ちいい」との声が上がりました。高橋先生から「家でも簡単に夫婦で出来ますので、やってみましょう」ということでした。その後は、背骨の強化や椅子に座っての「鳩のポーズ」からねじりを入れて体の動きを確かめました。



田内自治会 第 65 回お婆の会「吊るし飾りづくり」



2月2日(土)午後1時30分から「第65回お婆の会」を開催しました。今回は「吊るし飾り」をつくりました。世話人の金田さんを中心に小西さん、福井さん、石澤さん、田中さんが指導をしました。説明の後、はじめに椿の飾りをつくりました。花びらを留め、真ん中に雄しべの塊を、たっぷりのポンドで着けると、「椿らしいな」「花粉のところ、ほんまにそうなるわ」と、綺麗な椿に声が上がりました。葉っぱをつけた後、餅玉づくりをして、ウサギやシカ、鯛などの吊るす部品を準備し、5本のひもに吊るしていきました。そこに雄雉と雌雉も吊るして、「雉祭り」に飾れるようにと、世話人が準備しました。「雄雉が上、それとも雌雉が上？」の声に「その家によ



ってちがってくるかな」だそうです。1人分のグッズや鯛、雄雉・雌雉などのグッズを世話人が準備していることに、「大変やな。こんなん出来るのが本当にありがたい」と皆さんから声。皆さんもあかりちゃんも頑張って「吊るし飾り」をつくりました。



神足小校区 「神足ファミリーフェスティバル 2019」



2月9日(土)、午前9時30分から「神足ファミリーフェスティバル 2019」を開催しました。青少年健全育成協議会山本昌樹会長の開会挨拶の後、京都市の建巧社の皆さんによる「光るマンショー」がありました。反射材の普及が目的で、交通安全戦士：光るマンやモモレンジャー、黒っぽい衣装のクラジョーが登場し、子ども達は大盛り上がり。「暗い所では反射材を着用すると、遠くからでも目立つので、夜の外出には反射材を着けましょう」ということでした。「光るマン体操」をした後は、遊びや体験のコーナーがスタートです。体育館では「フラワーマグネットづくり」「ダンボールオセロ」「玉入れ」、生涯学習推進委員の割り箸でつぼう活用の「たおせよこづな」があり、どのコーナーにも長蛇の



列が出来ていました。ピロティでは「竹馬」「コマ」「けん玉」の昔遊びコーナー。玄関横の「交通教室」や運動場の「自転車教室」。駐車場の「消防車」「パトカー」「青パトカー」の試乗会、「光るマンカー」の反射材体験などがありました。神足名物の「うどん」や「ポップコーン」も用意され、あちらこちらから賑やかな声が出て、小さい子から大人までが集った「楽しいファミリーフェスティバル」になりました。



地域推進活動報告

田内自治会 第 34 回「オープンサロン」

1月26日(土)午後1時から「第34回オープンサロン」を開催しました。寒い日だったので、はじめはストーブの周りに集まり、おしゃべりしていると、北田さんのお孫さんのあかりちゃんが「お婆あちゃん達に私が脳トレをしてあげる」と、なぞなぞの本を持って来てくれました。大きな声で問題を出すと、皆さん一生懸命にトライ。「子どもとちがって大人は頭が硬いわ」ということで、すんなりと答えは出てきま



せんでした。柔らかく頭やないと難しい」と声が出した。しばらく脳トレが続いた後、前回の続きマフラーを編みました。ダーツや吹き矢も準備しましたが、マフラー編みに夢中の皆さんです。世話人から「お茶やお菓子で一服してください」という声に、「手から放したら、わからんようになるし」ということで、ドッと笑い声上がり、大盛り上がりでした。一服するときは、手に毛糸をはめたままでした。あかりちゃんもマフラーと一緒に編みました。ゆったりとした和やかな時間が流れていました。



地域推進活動報告

田内自治会 第 35 回「オープンサロン」

2月9日(土)午後1時から「第35回オープンサロン」を開催しました。とても寒い日だったので、部屋に入ると、ストーブの周りに集まり、しばらくお話タイム。皆さんとても生き生きと交流されていました。体が暖まると、これまでの続きで、「マフラー編み」をする人、ストーブの周りでおしゃべりを楽しむ人、「吊るし飾り」をつくる人と、思い思いの時間が流れていきました。作品づくりの皆さんは、集中して作

品づくりに取り組み、おしゃべりグループは、ワイワイと楽しくお話。「私、肩が痛かったんやけど、ヨーガの先生が『こんな風にしたら肩の動きが良くなります』と言わはったので、毎日やっていたら、ずい分楽になったよ」と、ヨーガで学んだことを披露していました。お茶を飲んだり、作品をつくったり、おしゃべりをしたりと、いつものように自由な充実した時間が今日も流れていました。

